

まちづくり環境委員会  
令和3年8月13日

環境清掃部 資料3番

所管 環境計画課

# 平成30年度大田区の温室効果ガス排出量報告

オール東京62市区町村共同事業「みどり東京・温暖化防止プロジェクト」の算定結果から

# 1 算定過程・算定方法

## (1) 算定過程

算定過程		令和元年度	令和2年度	令和3年度
統計データの公表	「二酸化炭素」の算定	← 随時公表 →		
	「メタン」「一酸化二窒素」 「代替フロン類」「六ふっ化硫黄」 「三ふっ化窒素」の算定		← 随時公表 →	
公表値を用いて算定				← 算定 →

- ・ 算定は国、東京都、その他関係機関が公表する統計資料を用いている。
- ・ 現在、**算定可能な最新値は平成30年度となる。**

## (2) 算定方法

温室効果ガス  
排出量

エネルギー消費量

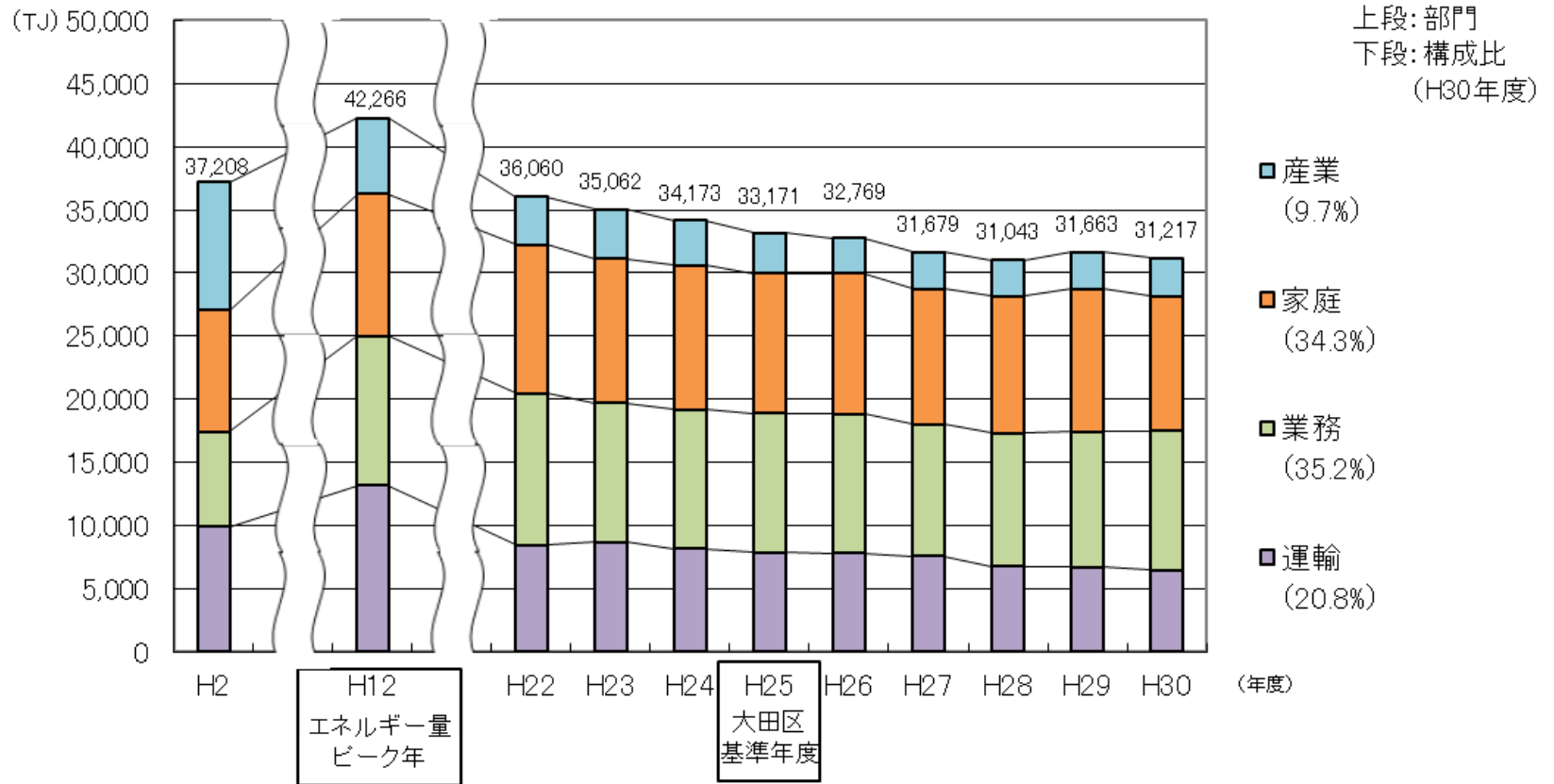
×

エネルギー源別排出係数

電気、都市ガス、ガソリン、灯油、軽油等

温室効果ガスに換算する係数

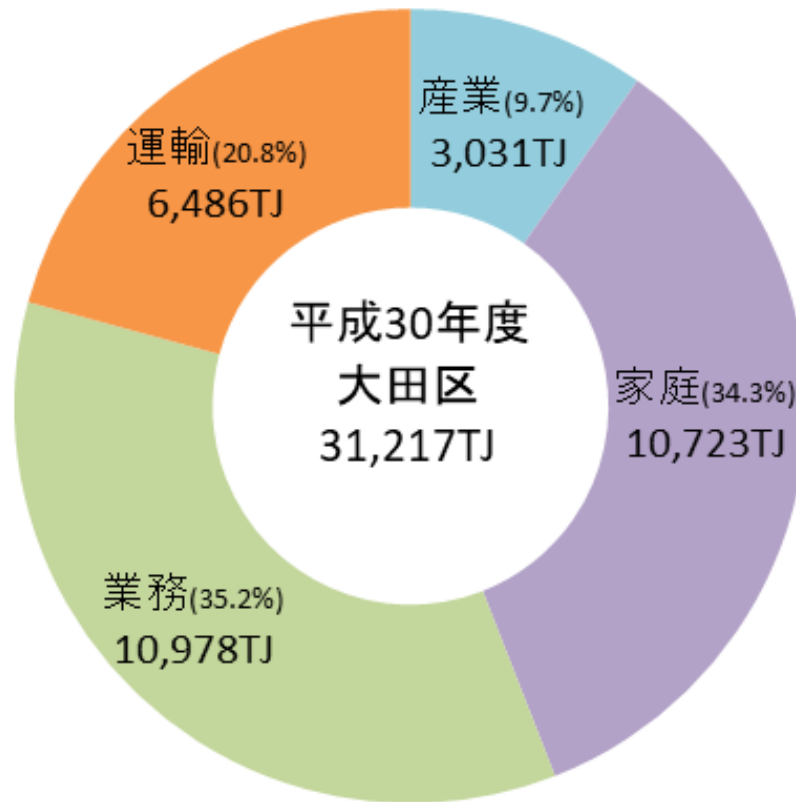
## 2 大田区のエネルギー消費量



**平成30年度 31,217TJ (テラジュール)**

平成25年度 (基準年度) 比 -5.9% (削減目標 令和12年度までに平成25年度比で-20%)

## 2-1 部門別エネルギー消費量



平成25年度比 (基準年度比)	
産業	- 4.9%
家庭	- 3.5%
業務	0.0%
運輸	-17.8%

( )内は構成比

産業：農林水産業、建設業、製造業

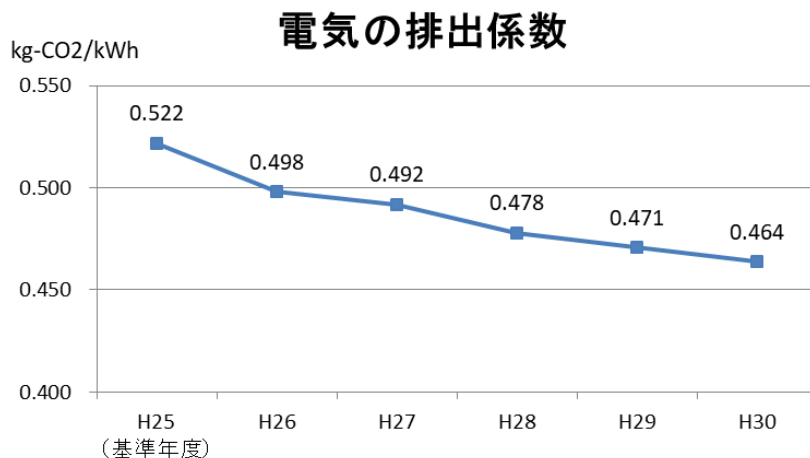
家庭：家庭

業務：事務所ビル、大型小売店、ホテル・旅館など

運輸：自動車、鉄道

# 3 電気の環境性

## (1) 電気の排出係数

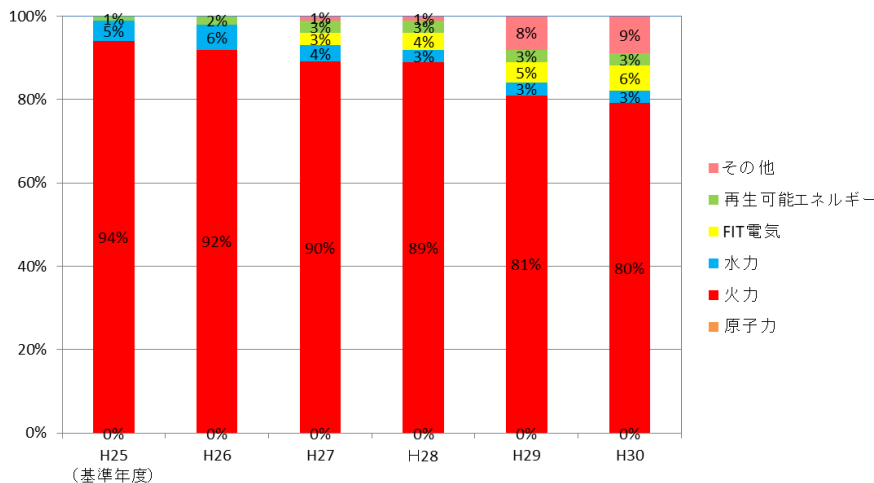


年度	電気 kg-CO <sub>2</sub> /kWh
H25(基準年度)	0.522
H29(前年度)	0.471
H30	<b>0.464</b>
(H25年度比)	-11.1%

平成30年度は、電力消費量1kWhに対し排出された二酸化炭素の量は0.464kg-CO<sub>2</sub>でした。

平成25年度と比較して、0.058kg-CO<sub>2</sub>減少しました。

## (2) 東京電力のエネルギー別発電電力量構成比

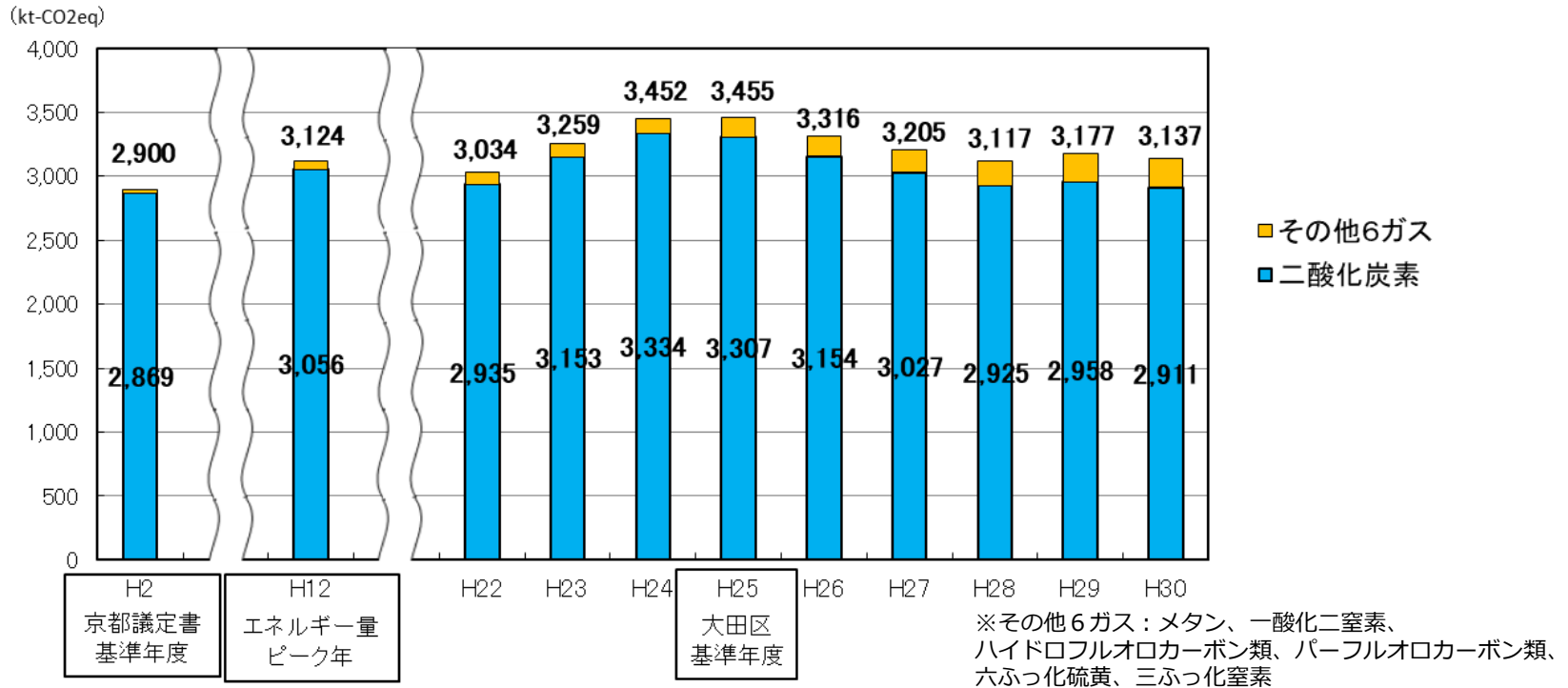


※ 再生可能エネルギー：太陽光、風力、水力、バイオマス、地熱のうち、FIT電気を除く。

※ 経済産業省「電力の小売営業に関する指針」(2015年1月制定)により、電源構成比の構成項目が変更されている。

出典：数表で見る東京電力、電源構成

# 4 大田区の温室効果ガス排出量



平成30年度 3,137 kt-CO<sub>2</sub>eq  
 平成25年度（基準年度）比 -9.2%（削減目標 令和12年度までに平成25年度比で-26%）

【参考】他の自治体との比較(平成30年度)

自治体名	(排出量)	
	k t -CO <sub>2</sub> eq	t -CO <sub>2</sub> eq/人
<b>大田区</b>	<b>3,137</b>	<b>4.30</b>
23区平均	2,051	4.93
東京都	63,900	4.61

(出典) ・特別区の温室効果ガス排出量（1990年度～2018年度）  
 （2021年3月 オール東京62市区町村共同事業）

・都における最終エネルギー消費量及び温室効果ガス排出量総合調査  
 （令和3年3月 東京都環境局）